

当振興公社県内企業アンケートによる県内経済

全産業

前年同月比については、業況DⅠ値は-32.8となり前回調査に比べ9.4ポイントの下降となったものの、全体の業況は製造業を中心に昨年9月水準並みと底堅い動きとなっている(図1)。

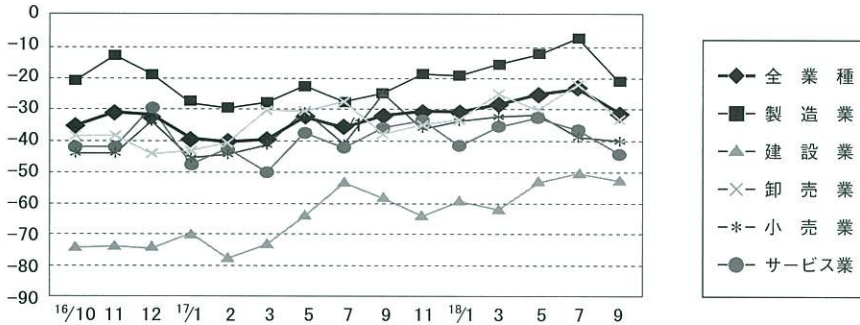
生産・販売高DⅠ値は-16.0で9.5ポイントの下降となり、業種別では、唯一卸売業で上昇傾向となっているものの、他業種は下降傾向となり、なかでもサービス業の貨物運送や製造業の木材木製品、電気機械器具等のDⅠ値が大幅な下降となっている(表1)。

3ヶ月先見通しについては、業況DⅠ値が-30.0で前回に比べ4.3ポイントの下降、生産・販売高DⅠ値は-7.6で4.3ポイントの下降傾向となっている(表2)。業種別の生産・販売高では卸売業で伸びる傾向とあるものの、他業種で下降となっており、なかでもサービス業で旅客運送、自動車整備等が下降傾向を示している。

営業利益率は、前年同月比で-42.2と前回に比べて3.6ポイントのマイナス、3ヶ月先見通しでは-32.2と3.3ポイントのプラスとなっており、資金繰りについては前年同月比-25.3で6.2ポイントのマイナス、3ヶ月先見通しでは-30.9で2.7ポイントのマイナスとなっている。

〈業況DⅠ値の推移(前年同月比)〉

〔図1〕



〔表1〕

	業況	生産・販売高	営業利益	資金繰
今回(9月)	-32.8	-16.0	-42.2	-25.3
今回(7月)	-23.4	-6.5	-38.6	-19.1
前回比	-9.4	-9.5	-3.6	-6.2

〔表2〕

	業況	生産・販売高	営業利益	資金繰
今回(9月)	-30.0	-7.6	-32.2	-30.9
前回(7月)	-25.7	-3.3	-35.5	-28.2
前回比	-4.3	-4.3	3.3	-2.7

県内経済の動き9月現在
業況、生産・販売高
やや落ち込むも、
全体としては底堅さ

製造業

製造業全体の前年同月比では、業況DⅠ値は-20.8で前回に比べ13.1ポイントのマイナス、生産・販売高DⅠ値は-16.0で前回に比べ9.5ポイントのマイナスといずれも下降している。3ヶ月先の見通しでは、業況DⅠ値は-17.2で2.3ポイントのマイナス、生産・販売高DⅠ値は-7.6で4.3ポイントのマイナスとともに下降傾向となっている。

業種別の業況(前年同月比)では、上昇が5業種、下降が10業種となっている。生産高(前年同月比)では、木材木製品の他、これまで好調を示していた電気機械、輸送機械で下降幅が大きくなっている。

業況(前年同月比)

〔表3〕

	食料品	織物	繊維	木材 木製	家具 装備	紙製 品加	出版 印刷	化学 石油	窯業 土石	鉄鋼	非鉄 金属	金属 製品	一般 機械	電気 機械	輸送 機械	精密 機械
今回(9月)	-31.1	-50.0	0.0	-30.0	25.0	-14.3	-66.7	-60.0	-23.1	10.0	0.0	12.5	-33.3	-8.3	-36.4	25.0
前回(7月)	-13.7	-37.5	20.0	-8.3	40.0	-20.0	-50.0	-40.0	-25.0	-9.1	0.0	18.2	-42.9	28.6	-12.5	-20.0
前回比	▲17.4	▲12.5	▲20.0	▲21.7	▲15.0	5.7	▲16.7	▲20.0	1.9	19.1	0.0	▲5.7	9.6	▲36.9	▲23.9	45.0

生産高(前年同月比)

〔表4〕

	食料品	織物	繊維	木材 木製	家具 装備	紙製 品加	出版 印刷	化学 石油	窯業 土石	鉄鋼	非鉄 金属	金属 製品	一般 機械	電気 機械	輸送 機械	精密 機械
今回(9月)	-8.9	-50.0	20.0	-40.0	25.0	-28.6	-77.8	0.0	7.7	20.0	40.0	18.8	-5.6	0.0	-18.2	25.0
前回(7月)	-2.0	-25.0	20.0	16.7	0.0	0.0	-75.0	-20.0	-6.3	0.0	40.0	18.2	-14.3	53.6	25.0	40.0
前回比	▲6.9	▲25.0	0.0	▲56.7	25.0	▲28.6	▲2.8	20.0	14.0	20.0	0.0	0.6	8.7	▲53.6	▲43.2	▲15.0

(注1) 各業種の数値はDⅠ値にて表示している。DⅠは「好転」、「変わらず」、「悪化」の問いに対し、「好転」と答えた%から「悪化」と答えた%を引いた値。

サービス業

前年同月の業況D I値は-45.2で前回に比べマイナス9.5ポイント、売上高D I値も-34.0でマイナス14.4ポイントとそれぞれ下降となっている。3ヶ月先見通しについては、業況D I値は-30.1でプラス2.0ポイントの上昇、売上高D I値は-7.6でマイナス4.3ポイントの下降となっている。また、その他問題点としては、売上の伸び悩みや競争の激化と答えた企業が以前高い割合を示している。

〔表 8〕

	業況 前年同月比	売上高 前年同月比	業況 3ヶ月先	売上高 3ヶ月先
5月	-33.4	-14.0	-29.7	0.0
7月	-35.7	-19.6	-32.1	3.6
9月	-45.2	-34.0	-30.1	-7.5

公社取引営業支援部門から見た県内企業の動向

電気機器組立関連では、受注減のところが見られるが、自動車部品、印刷機械、建設機械、医療用機器関連等の企業では、依然、多忙とする企業が多い。省力化機器、自動機等関連企業でも多忙とする企業が多いが、一部企業においては、やや落ちてきているとする企業も見られる。また、ステンレスや銅、真鍮等の原材料費の値上がりが続く中、受注コストに転嫁できず、苦慮している企業もある。

受発注関係では、省力化機器等の生産設備や自動車関連の発注相談が見られる。

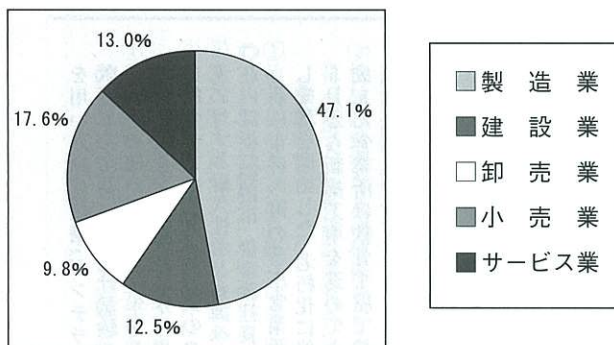
調査の概要 平成18年9月時点調査(郵送法)

調査対象 県内39業種 1,000社

有効回答企業 408社(回答率40.8%)

業種内訳 製造業 192社 建設業 51社 卸売業 40社
小売業 72社 サービス業 53社

〔図 2〕



建設業

前年同月の業況D I値は-52.9で前回に比べマイナス2.9ポイント、完工高D I値は-27.4でマイナス5.4ポイントとそれぞれ下降となっている。3ヶ月先見通しについては、業況D I値は-62.7でマイナス8.7ポイント、完工高D I値は-25.5でマイナス1.5ポイントとそれぞれ下降の見通しとなっている。また、その他問題点として、公共工事減少による競争激化及び受注価格の低廉と答えた企業が依然高い割合を占めている。

〔表 5〕

	業況 前年同月比	完工高 前年同月比	業況 3ヶ月先	完工高 3ヶ月先
5月	-52.8	-33.9	-58.5	-26.4
7月	-50.0	-22.0	-54.0	-24.0
9月	-52.9	-27.4	-62.7	-25.5

卸売業

前年同月の業況D I値は-35.0で前回に比べマイナス13.0ポイントと下降傾向となったが、売上高D I値は-10.0でプラス4.0ポイントの上昇となっている。3ヶ月先見通しについては、業況D I値は-20.0で前回との変動はなく、売上高D I値は-7.5でプラス4.5ポイントの上昇傾向の見通しとなっている。また、その他問題点としては、売上の伸び悩みや競争の激化と答えた企業が以前高い割合を示している。

〔表 6〕

	業況 前年同月比	売上高 前年同月比	業況 3ヶ月先	売上高 3ヶ月先
5月	-30.2	4.6	-13.9	9.3
7月	-22.0	-14.0	-20.0	-12.0
9月	-35.0	-10.0	-20.0	-7.5

小売業

前年同月の業況D I値は-40.3で前回に比べマイナス1.4ポイント、売上高D I値は-23.7でマイナス5.4ポイントとそれぞれ下降となっている。3ヶ月先の見通しについては、業況D I値は-45.8でマイナス10.4ポイント、売上高D I値は-9.8でマイナス7.4ポイントとそれぞれ下降の見通しとなっている。また、その他問題点としては、売上の伸び悩みや競争の激化と答えた企業が以前高い割合を示している。

〔表 7〕

	業況 前年同月比	売上高 前年同月比	業況 3ヶ月先	売上高 3ヶ月先
5月	-31.8	-27.6	-33.4	-10.2
7月	-38.9	-18.3	-35.4	-2.4
9月	-40.3	-23.7	-45.8	-9.8